

国際交流

もりおか



MORIOKA INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION

[発行] 公益財団法人盛岡国際交流協会 〒020-8530 岩手県盛岡市内丸12番2号 盛岡市役所本庁舎1階

[TEL] 019-626-7524 [FAX] 019-622-6211 [URL] <http://www.mira-morioka.com/> [E-mail] info@mira-morioka.com

国境を越え、踊り継がれるさんさ踊り

盛岡の夏を彩るさんさ踊りの季節がやってきました。ビクトリア市との姉妹都市提携節目の年には、日頃さまざまな形で交流を深めている仲間たちが集う行事があり、それぞれの市民有志がビクトリア市で開催されるビクトリアパレードや盛岡市で開催されるさんさ踊りに参加しています。また、折々に開催される姉妹都市交流会の最後は輪踊りで懇親を深めています。このようにさんさ踊りは、両市民の心をひとつにつなぎ、友好を育んできました。

2006年5月のビクトリアパレードには、盛岡から“わらしっこさんさ”のメンバーが参加し、さんさ踊りでビクトリアの観衆を沸かせました。私は、その年には太鼓2台を抱え、太平洋のかけ橋を渡りビクトリアへ。和太鼓を演奏する“海鳴り太鼓”メンバーにさんさ踊りの太鼓を伝えました。同年8月のドラゴンボートフェスティバルに参加するために発足された“ふるさとダン



ビクトリア市で行ったさんさ踊りワークショップにて（2006年7月）
前列左から2人目が安部由利子さん。前列右端の大きめの白い太鼓が“桶胴”

サーズ”メンバーとは、初めてのパフォーマンスに向け、太鼓と踊りの練習を重ね、一緒にさんさ踊りを披露することができました。今年で10周年を迎える“ふるさとダンサーズ”は、これまでにさんさ踊りを含む日本各地の伝統的な踊りを20通り習得し演舞してきました。

両団体ともにメンバーの入れ替わりがありながらも、当時寄贈した“さんさ太鼓”と“桶胴”^{おけどう}でさんさ踊りを伝承し、ビクトリア市の方々に盛岡の伝統文化を届け、姉妹都市交流を盛り上げています。

時が流れ変わりゆくものもありますが、年を重ねても変わらずそこにあるもの、深まりゆくものもあります。さんさ踊りの祭りの音色に、両市の交流や仲間たちへの思いを馳せるとともに、この姉妹都市交流が多くの方々の心に響き合い、1人でも多くの方々に笑顔を届け、人生を豊かに彩りますよう、心から願っています。

（記事：異文化交流コーディネーター 安部由利子さん）



IBC 岩手放送の姉妹局 CheckTV 中継にて
さんさ踊りを紹介（2006年8月）

EVENT REPORT

7月9日

留学生と市民の ガーデンパーティ ～世界の屋台村～



各国からの留学生がお国自慢の料理に腕をふるい、民族舞踊を披露する「留学生と市民のガーデンパーティ～世界の屋台村～」が、今年も岩手大学を会場に開催されました。

このイベントは、岩手大学の留学生会が中心となり盛岡情報ビジネス専門学校の留学生や海外出身の盛岡市民らが参加して、地域の皆さんとの交流を目的に、毎年この時期に開催しています。

韓国のカキ氷やタイのグリーンカレーパスタ、ベトナムのフォー、ネパールのモモ（蒸し餃子）など東南アジア、ヨーロッパ、アメリカなど11カ国・1地域の屋台が出店し、来場者は世界の味めぐりを楽しみました。

屋台グルメのほかにも、アトラクションではインドネシアのジャイボン・ダンスやネパールの民族舞踊が披露されたほか、フィナーレにはベトナムのバンブーダンスが行われ、留学生と市民が手を取り合いながら楽しく踊りました。多くの留学生と市民が食と芸



能を通して交流を深めたガーデンパーティは大盛況で幕を閉じました。



4月21日

盛岡で新生活を迎えた留学生

毎年4月に実施している“生活オリエンテーション”は、ごみの分別の仕方や種類によって異なる収集日程などの出張授業を、依頼のあった学校で行う事業です。

今年は4月21日に盛岡情報ビジネス専門学校にて、ネパールや中国からの生徒約15人を対象に、盛岡市資源循環推進課の職員がイラストやペットボトルなどを使い、日本語でわかりやすく説明。

資源ごみやプラの分別など、皆さん真剣に聞き入る様子が印象的でした。



6月1日

国際交流体験を子どもたちに

外国語や海外出身の方と触れ合う機会を与えることを目的に、市内の保育園や認定こども園で開催しているキッズ・レッツ・プレイが今年も始まりました。

第1回目は6月1日、手代森保育園で開催しました。韓国出身の講師による、韓国文化の紹介や伝統的なやり投げ遊び「トゥホ」を通して、楽しい国際交流の時間を過ごしました。

今年は年間を通して6か所の保育園と認定こども園に、さまざまな国出身の講師を派遣して行きます。



MIRA イベント各種ご案内

キッズ・レッツ・プレイ 7/29、9/14、10/5、12/6 開催予定

中学生による国際交流コンテスト 9月3日（応募期間 7/27 迄）

中学生ビクトリア市研修 10/29～11/5

語学文化講座【スペイン語】 1/21～2/25 毎週土曜日全6回

英語通訳講座【1回目】 8/22～10/3 毎週月曜日全6回（申込締切 7/29 消印有効）

英語通訳講座【2回目】 2/2～3/9 毎週木曜日全6回（申込締切 1/13 消印有効）



JICA

ボランティア活動報告〈スーダン編〉

「スーダンの暮らしとユニセフでの活動紹介」

青年海外協力隊員 ^{さぎさか} 鷺坂 ^{ふみあき} 史明さん

スーダンはアフリカの北東部に位置する砂漠気候の国です。夏には気温が45度を超え、冬でも30度を超えるので、盛岡のような寒さとは無縁の国です。私が暮らしている首都ハルツームは、川の合流地点にある盛岡の街のように、エチオピアから流れてくる青ナイル川とウガンダから流れてくる白ナイル川の合流点に街が発展しています。ナイル川沿いのレストランでは、川魚や海老のフライを食べることができます。この他にスーダンでは羊肉や鶏肉がよく食べられ、主食としては豆とパンを食べます。スーダンの国民の多くはイスラム教徒で、街のいたるところにモスク（イスラム教の礼拝堂）があります。豚肉やお酒は一切なく、女性はどんなに暑くても全身を覆い肌が隠れる服を着ています。

私の配属先は国連児童基金（UNICEF・ユニセフ）スーダン事務所の計画・モニタリング・評価部です。ユニセフはスーダンに暮らす子どもたちとその母親たちを栄養、保健、水と衛生、教育、権利保護の分野で支援しています。私の所属する部署では、これらの分野におけるスーダン政府支援の方針と計画を策定し、計画の実施状況をモニタリングし、実施結果の評価を行っています。



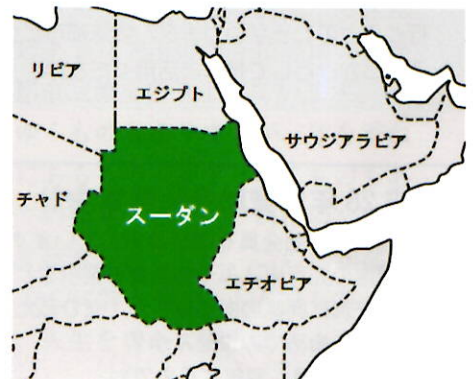
保健省の若手職員への研修終了後

私は複数分野に関連する事業の計画・モニタリング・評価の調整を行っており、ユニセフの部署間の、また他の国連機関とのプロジェクトの調整を行っています。例えば、乳幼児死亡率の低下を目標としたプロジェクトでは、栄養失調の子どもたちへの食糧の配布と治療を行うためのシステム作り、病気の子もたちを持つ母親が通うことができる保健所の拡充、きれいな飲み水を確保し汚水を処理するための施設の整備などを、ユニセフの同僚、関係省庁の担当官、国連世界食料計画の職員と協力して行っています。

異文化の国スーダンで生活しながら、国連で世界のさまざまな国の人と共同でプロジェクトを実施するのは大変なことも多いですが、日々の新鮮さと笑いに事欠かず、楽しく、学びが多く、有意義な時間を過ごしています。



近所の仲良しの子どもと一緒に



Foreign Friends in Morioka



盛岡情報ビジネス専門学校で事務員として働くニュンさん

盛岡情報ビジネス専門学校日本語学科には現在8カ国、56名の留学生がいます。そこで事務員として彼らを支えるベトナム出身のレ・ホン・ニュンさんをご紹介します。日本で働く上での大変さや楽しみ、語学への向き合い方など、盛岡でたくましく頑張る彼女にお話を伺いました。

いらない新聞をもらって読んだり、人と話すときに授業で覚えた日本語を使ったりして頑張りました。簿記や事務の勉強をしているときは本当に忙しくて、食事や睡眠の時間を削ってやっていました。

岩手人のやさしさに愛着、「ありがとう！」が喜びに

5年前に来日して以来、ずっと岩手に住んでいます。優しく心が温かい人が多く、困ったときは何度も皆さんに助けてもらいました。岩手に愛着をもつようになって、地域に貢献できる仕事に就きたいと思いました。今の仕事は盛岡情報ビジネス専門学校の日本語学科での学生サポートで、始めて4か月が経ちました。学生から「ありがとう！」と言われたり、知り合いが増えてきて街で出会うと挨拶してくれるのが嬉しいです。

好きな場所は図書館、今でも語学勉強は欠かせません

図書館で他の人が一所懸命勉強している姿勢を見ると、自分も頑張らなきゃ!と思います。休みの日には日本人ボランティアの方と会話の練習をしたり、本を読んだりしています。自分の日本語力はまだまだですし、会社でのスキルも無いので、もっと日本で働きながら日本語やスキルを身につけようと思っています。



職場のサポートにも感謝。日本語学科部長宍戸さん(右)

ベトナムの世界遺産ハロン湾から来ました

ベトナム北部のハロンという小さい町出身です。ベトナムでは有名な観光地で、世界遺産にもなっているハロン湾の近くなので、観光客がいつもたくさんいます。

日本には伝統的なものがいっぱい

ベトナムでは日本のドラマやアニメを放送していましたし、茶道や着物など日本の伝統を紹介していることがありました。ベトナムには伝統的なものがあまり残っていないのに日本には結構残っていることに興味を持ちました。

挫折からの努力!辛かったことをバネに語学勉強に励んだ日々

最初は、日本に来ればペラペラ日本語が話せることが当たり前だと思っていたので全然勉強しなかったんです。当たり前ですが全然上手くならなかったです。教科書の日本語と、皆さんが話している日本語が結構違うことに戸惑いました。日本語が理解できなくて、アルバイト先で辛い思いをしたのをきっかけに、勉強を始めました。

図書交流で姉妹都市ビクトリアを知る

～盛岡市立図書館の寄贈書籍の活用を～

2001年4月カナダ・ビクトリア市と盛岡市の友好のシンボルとして、ビクトリアのビジターセンターにクロックタワーが完成し、除幕式が行われました。これを記念して、両市の友好協会を通して図書交流が行われ、グレートビクトリア中央図書館のサンドラ・アンダーソンさんから、ビクトリア市関連図書3冊が盛岡市に寄贈されました。関連図書は、多くの方々可以利用できるよう、盛岡市立図書館に保管されています。美しい花々が街並みを彩るビクトリア市街を知ることができる写真集や、ビクトリア市のあるブリティッシュコロンビア州の雄大なスケールの自然を垣間見ることのできる写真集などがあります。遠くてなかなか行くことのできないカナダ、姉妹都市ビクトリアを知るきっかけとして是非ご活用ください。



盛岡市立図書館
～ビクトリア関連図書～
1. Victoria
2. Beautiful Vancouver Island
3. British Columbia Victoria

グレートビクトリア中央図書館前にて(2001年)
左上: アンドレ・コロフキンさん
(クロックタワーデザイナー)
左下: テイコ・コロフキンさん
中央: 安部由利子さん
(異文化交流コーディネーター)
右上: ダグラス・ポテンシアさん
(ビクトリア・盛岡友好協会当時の会長)
右下: グレートビクトリア中央図書館
サンドラ・アンダーソンさん



平成28年度賛助会員募集中!!

当協会は賛助会員を随時募集しています。会員になると当協会が主催する語学講座の先行申込みや参加費の割引などが受けられます。

国際交流に興味のある皆さん!ぜひ私たちと一緒に身近な国際交流を始めてみませんか?

●年会費(4月～翌年3月まで)

個人: 1,000円

団体: 10,000円 ※自動更新ではありません。

盛岡国際交流協会
キャラクター
モリーラ



補助金交付要綱が変更になりました

盛岡国際交流協会は、盛岡市民の国際交流活動を支援するため、民間団体が行う国際交流事業・国際協力事業に対して、補助金制度を用意しています。今年度から補助金交付要綱を一部変更しましたので、申請を検討されている皆さまは盛岡国際交流協会ホームページの助成・支援情報で内容を確認の上、お申し込みください。